

ウズベキスタン・ビジネス交流セミナー
～現地 JETRO 事務所長の講演・現地優良企業 3 社のプレゼンを通じて
同国のビジネスの最新状況をお伝えします～

ウズベキスタン国(ウ国)では、2016年12月にミルジヨエフ政権発足後約2年が経過し、2017年9月には外為規制が緩和される等、急速にビジネス環境が改善しています。本セミナーはこうした背景を踏まえ、同国へのビジネス展開や同国企業との取引を検討している本邦企業向けに、同国の経済状況、ビジネス環境およびビジネス人材の現状等について情報提供することを目的に開催するものです。①JETRO タシケント事務所下社所長からの現地のビジネス環境についての報告、②2001年から、JICAの協力プロジェクトとして現地でビジネス人材育成に携わるウズベキスタン日本センター(UJC)からの事業の成果と日・ウ間のビジネス交流促進に関する活動の紹介、③UJCのビジネス研修コース Professional Management Program (PMP) 修了の企業経営者3氏による、日本とのビジネス取引の経験と期待の紹介を行います。なお、今後の交流促進に向け、セミナー終了後の参加者と登壇者間での名刺交換会の時間を設けております。奮ってご参加ください。

1. 日時：2018年12月6日(木) 13:15 - 17:00 (受付開始 13:00)
2. 場所：東京グリーンパレス(麹町) 会議室ふじ (<https://www.tokyogp.com/access/>)
 ※JICA 本部ビルではございませんので、ご承知おきのほどお願いいたします。
 住所：〒102-0084 東京都千代田区二番町2番地 東京グリーンパレス
 電話：03-5210-4600

3. プログラム (予定)

13:00～13:15	受付
13:15～13:20	開会挨拶 JICA 東・中央アジア部 部長 藤谷 浩至
13:20～13:30	開会祝辞 駐日ウズベキスタン共和国大使館経済担当 参事官 フルシド・ハイダロフ (予定)
13:30～13:50	「ウズベキスタンの最新経済・ビジネス動向」 日本貿易振興機構(JETRO)タシケント事務所長 下社学
13:50～14:00	「JICAのウズベキスタンにおける協力状況(民間セクター分野含む)(仮)」 JICA 東・中央アジア部 部長 藤谷 浩至
14:00～14:10	「UJCの取り組み(仮)」 UJC 共同所長 高田 裕彦
14:10～14:20	「海外企業とのビジネス交流のポイント」 UJC 講師 藤田 忍
14:20～14:30	質疑応答
14:30～15:45	ウズベキスタン企業 (UJC PMP 修了企業経営者) 発表 (各社 25分×3社)

	<p>① ダダホジャエヴ・アブロール (Dadakhodjaev Abror) : SAMO PRODUKT 社(食品加工業)、Art Mebel 社(家具製造業) Olimxon Global 社(家畜飼料製造業)</p> <p>② アホメドヴ・シェルゾッド(AKHMEDOV Sherzod) ROUND ROOFS 社(被服縫製・販売業、被服縫製機器輸入販売業)</p> <p>③ ベクナザロヴ シェルゾッド (Beknazarov Sherzod) Alvon 社(アパレル小売モール業)、Yasukanamu 社(被服縫製・販売業)</p>
15:45~16:10	質疑応答
16:10~16:15	<p>閉会挨拶</p> <p>JICA 産業開発・公共政策部 民間セクターグループ 第一チーム 参事役 田中 伸一</p>
16:15~17:00	名刺交換会

4. 開催者等

- 主催：独立行政法人国際協力機構(JICA)、ウズベキスタン日本センター(UJC)
- 協力：駐日ウズベキスタン共和国大使館、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)
- 後援：一般社団法人ロシア NIS 貿易会(ROTOBO)、国際連合工業開発機関 (UNIDO) 東京投資・技術移転促進事務所

5. 定員 約 100 名 (先着順)

6. お申し込み方法

- 参加申し込み用メールアドレス Kadaishien_chosei@jica.go.jp に以下をご記載の上ご連絡願います。
- お申し込み締切は 2018 年 12 月 3 日(月)18 時です。
- 定員に達した場合には締め切り前であっても受付終了となる場合がございますので、何卒ご了承くださいませ。

【メール件名】：12/6 ウズベキスタン・ビジネス交流セミナー参加申込の件

【御所属】：

【部署・御役職】：

【御名前】：

【メールアドレス】：

(ウズベキスタン企業3社の個別面談のご希望があれば、business_seminar@padeco.co.jp までご連絡ください。)

7. お問い合わせ先

(1) セミナーの内容に関するお問い合わせ：

担当：JICA 産業開発・公共政策部民間セクターグループ第一チーム 杉山

連絡先：Mail: Sugiyama.Ryota@jica.go.jp; Tel : 03-5226-6942;



- (2) 参加お申し込みに関するお問い合わせ：
担当：JICA 課題部支援ユニット 調整チーム 山田
連絡先：Mail: Kadaishien_chosei@jica.go.jp; Tel : 03-5226-6655;
- (2) ウズベキスタン企業3社との個別面談希望に関するお問い合わせ：
担当：株式会社パデコ 経済／社会開発部 齋藤
連絡先：Mail: business_seminar@padeco.co.jp; Tel: 03-5733-0855（代表）；

登壇者紹介



JETRO タシケント事務所長 下社 学 (しもやしろ まなぶ) 氏

94年入構。海外調査部ロシアNIS課長、和歌山県農林水産部食品流通課長等を経て2014年7月より現職。タシケント駐在は00～06年に続き2度目。主たる著作・執筆協力として中央アジア経済図説(東洋書店)、中央ユーラシアを知る事典(平凡社)、ロシア経済の基礎知識(ジェットロ)、カザフスタンを知るための60章(明石書店)、現代中央アジア(日本評論社)など。



ダダホジャエヴ・アブロール (Dadakhodjaev Abror) 氏 UJC PMP 修了 (2008 年下期)

1) SAMO PRODUKT 社 (食料品製造業)

2012年に設立し、ウズベキスタンの果物を使用したジャムやゼリーなどを製造、販売している。2016年からは、ロシアやカザフスタンへ海外輸出している。日本企業からゼリーの蓋を張る機械を購入し、ウズベキスタン初のゼリー製造に成功した。日本で開催の食品展にも出展した(2015年)。

2) Art Mebel 社 (家具製造業)

1999年に設立し、職場、家庭、学校などの家具、机、椅子、ソファ、棚などの製造、販売を行っている。

3) Olimxon Global 社 (家畜飼料)

2017年に設立し、米の殻をリサイクルした家畜飼料の製造をしている。ウズベキスタンに工場を作り、現在は日本にも工場を作りたいと動いている。

ホメドヴ・シェルゾッド (AKHMEDOV Sherzod) 氏

UJC PMP 修了 (2012 年下期)



ROUND ROOFS 社 (被服縫製・販売業、被服縫製機器輸入販売業)

2012年に設立し、洋服、ジーンズ、ドレスなどの製造、販売を行っている。輸入輸出、ウズベキスタン綿100%を使用した洋服を製造している。日本のラグビートームからスポーツウェアの発注を受け、製造した。また、日本製のミシンを輸入し、ウズベキスタン企業へ販売もしている。Tシャツへのプリント機械も日本製を購入し、使用している。過去には日本の被服縫製の展示会に参加し、常に新しいビジネスの可能性を広げている。

クナザロヴ シェルゾッド (Beknazarov Sherzod) 氏

UJC PMP 修了 (2016 年上期)



1) Alvon 社 (アパレル業)

2016年からデパートメントストアーのフロア一角にて様々なブランドの洋服を販売している。

2) Yasukanamu 社 (被服縫製・販売業)

2008年に設立し、タシケント内に20店舗(2018年11月現在)を展開している。ウズベキスタン綿100%を使用した洋服の製造、販売を行っている。国際基準を目標に製造の質を高め、リーズナブルな価格で提供できるように挑戦している。将来は日本へウズベキスタン綿100%の洋服を輸出したい。今後は、一層のビジネスの多角化を志向している。